



今回のテーマ **蘋果知事(りんご知事)教育表彰を受ける**

青森県知事 **三村申吾**

昨年暮れの12月7日に、台湾政府から「長期にわたり、台日教育旅行の促進に多大な貢献をした」とのことで感謝状をいただいた。りんごの輸出や観光誘客、産業連携などのジャンルではなく、地道に時間をかけて積み重ねてきた子どもたちの交流事業を台湾政府が高く評価していただいたことに大変感激した。

感謝状の贈呈式典において、15分間のスピーチをお願いしたいとのことで、大変ありがたくうれしい思いで準備を進めていたが、県議会の日程と重なり、台湾での式典出席は断念した。

しかし、スピーチは映像でも良いのご厚遇をいただいたことから、これまでの経緯や交流について、思いの丈をお話させていただいた。以下、その概要を紹介する。

『青森県と台湾との教育旅行の交流を振り返ると、そのきっかけとなったのは、当時、青森中央学院大学大学院生で、現在は現地コーディネーターとして活躍されている台湾出身の黄麗霞(こうれいか)さんからいただいた、農村活性化

対策として台湾から青森県に農家民宿を取り入れた教育旅行を誘致するべきとの提言でした。

記念すべき第1号は、2008年1月の高雄市立陽明国民中学です。この時は、十和田市を訪れ、地元の中学校と交流を行ったほか、雪中大根の収穫や餅つきなどを体験し、農家民宿に宿泊しました。

こうして、台湾と青森の子どもたちの交流が始まり、台湾の、純真でいとおしい子どもたちと触れ合うたびに、大きな感動がありました。そして、ますます台湾の子どもたちが大好きになり、私自身、延べ23校を直接訪問して、改めて青森県の魅力をPRしながら、信頼関係を一つ一つ築き上げてきました。

また、台湾からは、これまで、実に32校に青森県を訪れていただきました。さらに、2021年8月には、青森県教育委員会と台北市政府教育局との間で教育交流協力に関する了解覚書を締結し、教育分野における連携をより一層強化するとともに、国際教育を通じ、グローバルな視点を持ち主体的に行動できる将来を担う人財の育成に取り組んで

います。

教育旅行を通じた交流は、生徒たちがお互いの地域の理解や関心を高めることにより、将来にわたって友好な関係を構築することができます。特に、若い世代は、グローバルな視点や考え方を早くから身につけることができ、世界で活躍できる人財の育成につながることから、教育交流を長期的に継続していくことが重要です。

青森県は、人は青森県にとっての財(たから)であると考えています。台日教育旅行交流は20周年を迎えましたが、このことをさらなる飛躍への通過点として、引き続き、「青森県づくりの基礎は人づくり」という理念の下、30年、50年先を見据え、しっかりと交流に取り組んでいきます。』

私は、子どもたちは、誰にとっても、どのような社会や地域にとっても大切な宝であり、未来への希望であると思っている。

東日本大震災の時に台湾の子どもたちが「日本加油(日本ガンバレ)」の掛け声のもと募金活動に立ってくださった上に、その後台湾を訪問した際に、日本そして青森を心配してくださる温かい言葉を次々と掛けてもらい、感動のあまり、そして明るい未来が拓かれていくことを確信し、涙したことは今でも忘れない。

多謝臺灣(ありがとう台湾)!! 多謝臺灣的孩子们(ありがとう台湾の子どもたち)!!

AOMORI INFORMATION あおもりインフォメーション

企画展「三内丸山遺跡の埋葬」

三内丸山遺跡のお墓について紹介する企画展を開催しています。

三内丸山遺跡は大きな集落だったことが分かっていますが、住んでいた人たちはどのように埋葬されたのでしょうか。大人の墓、環状配石墓、子どもの墓の違いや、お墓がどのような場所につくられていたのかなどを紹介します。

【開催期間】3月12日(日)まで

【観覧料】一般/410円、高校生・大学生/200円、中学生以下無料(遺跡を含む常設展の入場料で観覧できます)

詳しくは

三内丸山遺跡センター ☎017-782-9462



環状配石墓

知っていますか?「北海道・三陸沖後発地震注意情報」

北海道の太平洋沖から東北地方の三陸沖でM(マグニチュード)7.0以上の地震が発生した場合、その後1週間程度、平常時よりも巨大地震(後発地震)の発生に注意する必要があるとして、気象庁が「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発信します。

東日本大震災の折にも、M7.3の地震が発生した2日後に、M9.0の地震が発生しました。注意情報が発信されたら、後発地震の発生に備えて防災対応をとり、迅速に避難ができるよう準備をしましょう。

詳しくは

防災危機管理課 ☎017-734-9181

県庁HP 内閣府HP



性犯罪の被害に遭い悩んでいませんか

被害に遭われたあなたは悪くありません。1人で悩み苦しまずに、まずは相談をしてみませんか。

青森県警察本部では、性犯罪の被害に遭われた方やその周囲の方などを対象とした相談電話「性犯罪被害110番」を設置し、皆さまのご相談を受け付けています。性犯罪の被害は、心や体に大きなダメージを受け、簡単に忘れられるものではありません。周囲の人たちの寄り添う心が大切です。

詳しくは

県警察本部刑事部捜査第一課 ☎017-723-4211(代表)

「性犯罪被害110番」
0120-89-7834

はーとさん
全国共通相談電話 #8103

※24時間対応可
※休日・夜間は希望する性別の警察官が不在の場合もあります

消費税のインボイス制度が始まります

今年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式として、インボイス制度が始まります。

事業者の皆さまが適格請求書(インボイス)を発行するためには、税務署への登録申請が必要です。制度開始時からインボイスを交付するためには、原則として令和5年3月31日までに登録申請を行う必要があります。登録申請は、「e-tax」(電子申告)で、自宅のパソコンなどから行うことができますので、ぜひご利用ください。

詳しくは

税務課 ☎017-734-9064

県庁HP 国税庁HP

インボイス制度に関する
お問い合わせ先

インボイス
コールセンター
インボイス制度に関する
一般的なご質問やご相談を
受け付けています。
フリーダイヤル
0120-205-553(無料)
9:00~17:00(土日祝除く)



スマートフォン用アプリ「マチイロ」で手軽に **県民だよりあおもり** が読めます!

詳しくは

みなさんと県庁を結ぶ県政インフォメーション

テレビ ◆RAB「LINK/青森県」(30秒スポット) ◆RAB「大好き、青森県。」(第3日曜日)17:00~17:15(「TVer」で見逃し配信有り)

◆ATV「みんなの県庁!」(土)16:55~17:00 ◆ABA「メッセージ」(土)9:30~9:35 [放送時間が変更になることがあります]

ラジオ ◆RAB「青森県広報タイム」(月)~(木)7:30~7:35 ◆エフエム青森「あおもり・ふあん」(月)~(金)16:55~17:00

新聞 ◆東奥日報・デーリー東北・陸奥新報「広報あおもりけん」(毎月1日・16日)

HP/Twitter ◆県のホームページ <https://www.pref.aomori.lg.jp/> ◆青森県庁Twitterアカウント(@AomoriPref)



TVer

青森県広報広聴課公式SNSもチェック!



Facebook
青森県広報広聴課



Twitter
@aomorist



Instagram
@aomorikenmindayori

編集発行 **青森県広報広聴課** 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。
※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあおもり」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。この印刷物は520,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.5円です。